

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2025年1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2025年1月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団と個別の利用を活かして支援ができています。	・小集団と個別で同じ課題に取り組み、細やかな支援に繋がっている。	・個別の支援と小集団での支援を継続していき、両方の場面で見られる点を共有して個別と小集団の両方でサポートしていく。
2	・指導員の個性や得意やことをそれぞれが活かし、お互いに支え合っている。	・複数人で担当を持つなどして子どもたちの色々な面を見つけやすいようにしている。	・カンファレンス等で情報共有をして、違う見解を周りから聞く事ができる。
3	・保護者様と話す時間を確保できている。	・指導員と直接話す振り返りの時間や、小集団の際のママカフェなどで保護者様の話を聞く時間を多く確保できている。	・今の状況を継続すると共に、時期に応じてこちらから相談する機会を設定するなどして更に充実させていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スペースの狭さ。	・建物の構造上仕方のない部分ではある。	・パーテーションや机を動かして広さを確保したり、集中が必要な場面では区切った区間で支援する等状況に合わせて支援場所を変更していく。
2	・教室の活動などの情報の発信が周知されていない。	・ブログで活動内容は発信しているがしっかりと周知できていない状況。また、防災訓練や各種マニュアルなどは張り紙などもなく周知できている状況ではない。	・教室内で掲示したり、QRコード付きの予定表にするなどして目に留まる環境を増やしていくようにする。配置して完了ではなく、保護者様に案内する等定期的な周知も行っていく必要がある。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校
------	-----------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 7名

回収数 7件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	1		・狭い空間でもパーティションで工夫されていると思うが、小さい子の声が他の利用者の邪魔にならないか心配。 ・他のお子様がおられるときもパーティションで区切り、プライバシー確保されていると思う。 ・もう少し広さがあると良い。	・限られた空間ではあるが、利用者の要望や特性に合わせてその都度配置を変えていく事を継続していく。 ・同じ時間帯に人が多くなり、気になる可能性がある場合は周りの方に説明をしていく。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					・段差なく、動きやすいと思う。	・引き続き安全に留意して環境を設定していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					・誤嚥する物もなく安全です。	・引き続き取り扱う教具に気を配っていく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				・子ども事を大事にして頂いています。	・引き続き丁寧な支援を提供できるようにする。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					・月齢に合わせて作成されています。	・状況に合わせて説明、提示を継続していく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					・色々なおもちゃで遊んでいます。	・楽しく活動し、成長をサポートできるように教具の選定を進めていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7						
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	3			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6				1	・まだ幼いので参加できませんが、参加してみたいです。	・参加しやすいような環境設定を心がけていく。 ・年齢に応じた内容を提供できるようにする。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					・相談事にも乗って頂いています。	・年齢や状況に合わせて気軽に相談できるようにしていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6				1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		2	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				・言葉の支援を重点にして欲しい。	・支援内容を保護者様と相談しながら進めていけるようにする。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校
------	-----------------------

公表日 2025年 2月 15日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・パーテーションを動かすなどして状況に応じてスペースを調整している。	・運動するスペースが取り辛い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・時間帯によっては可能。	・時間帯だけでなく、本人の特性や要望に応じて部屋割りを工夫できるようにする。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・カンファレンスの時間を設定したり、社内アプリを使って皆で情報共有できるように努めている。	・話し合う時間が減り中々できない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価を受けて情報をまとめてから共有する時間を設けている。	・評価を受けてから対応している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・時間を見つけて打ち合わせをしたり、社内アプリを使用して情報共有に努めている。	・話し合う時間が減っている。 ・意見集約には努めているがそれが業務改善には中々繋がっていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・内部監査、という形で法人内で評価を行っている。	・第三者評価は行われていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・指導員も原案のチェックなど計画の作成に参加している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・イベントなどはチームで行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・オレンジジャンプ、おやこ教室などを行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・訓練日やマニュアルを分かりやすく掲示したり、FBで伝えたり周知をする。	・不十分だと感じる。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・計画性を持って取り組めるようにしている。	・できていない。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・利用前に確認した事を定期的に確認しつつ、打ち合わせの際に周知していく。	・知っている人が限られている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・食品を提供することはないが事前に確認している。	・フェイスシートにアレルギー確認事項はあるが医師の指示書はない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・職員周知を定期的に行っていく。	・安全計画の内容が周知されていない。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・定期的に周知を図っていくようにする。	・計画の職員周知がなされていない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・個別に事前に保護者と話し合っている。		